

指導教員：西田在賢

副査：渡邊貴之

医療経営人材養成を目的とした  
遠隔講義システムの有用性の実証研究

学籍番号 0714076

袴田 さゆり

平成 23 年 1 月 11 日

## 要旨

現代社会福祉経営研究室では、病院経営人材養成の必要性が高まっていることを背景にして、経営について学ぶ時間の少ない医療従事者が、移動に時間を費やすことなく病院経営について学べるようにするために遠隔講義システムの研究が続けられている。

静岡県立大学平成 20 年度ゼミ卒業生、下坪壮介の「e ラーニング事業可能性についての考察 - 医療・福祉経営をコンテンツとして -」では、17 名の医療従事者に対して行われた質問紙調査、「医療・福祉経営をコンテンツとした e ラーニングの需要調査」から、医療経営を学ぶことに対するニーズの高さと、e ラーニングシステムを利用して、時間や場所の制約を緩和していくことへの期待が明らかにされている。また、静岡県立大学平成 21 年度ゼミ卒業生、小倉匠の「医療経営人材養成を目的とした遠隔講義システムの構築と有用性の実証研究」では、渡邊貴之准教授のご協力により e ラーニングシステムが実際に構築された。ゼミ生 2 名を対象に、システムを利用した医療経営人材養成講座の受講実験と、質問紙調査「遠隔講義システムを利用した講義受講における遠隔講義システムの評価調査」が行われ、その評価の高さから、システムの有用性が明らかになった。

本研究では、わが国の医療業界を取り巻く環境とふたりの先行研究を背景にして、e ラーニングシステムを用いた教育指導において受講者から利用満足が得られるか、教育指導に役立つかという実用性を確かめることを目的とした。

研究活動では二回の実験を行った。第一回は、現代社会福祉経営研究室のゼミ生を対象とした多人数での遠隔講義実験で、第二回は、医療従事者を対象とした一対一での遠隔個別指導実験である。安定した通信ができるかどうかサーバの負荷状況を調べたところ、多人数での通信でも負荷状況は軽く、10 人以上での通信にも耐えうる事が分かった。しかし、多人数での通信においては、他の受講生との意思の疎通がしづらいことや、自発的な発言がしづらいこと、音声の途切れや不通が多かったことから、利用満足は得られなかった。医療従事者との一対一での通信においては、実験の進行を妨げるほどのトラブルは発生しなかった。受講者からは、映像、音声、操作性についてと、システムを介した講義について高い満足が得られた。このことから、多人数での通信では実用性が低いが、一対一での通信では実用性が高いことが分かった。そして、実験中に起こった問題点を挙げてそれらを解決していくことを今後の課題とした。